日南市油津別館改修設計業務受託者選定委員会（二次審査会）会議録

令和6年8月23日

未来創生課作成

会議録（要点記録）

開催場所	日南市テクノセンター 2階201号室、3階301号室		
会議日時	令和6年8月8日（木）	時間	10時00分～11時45分
会議出席者	<p>1 日南市油津別館改修設計業務受託者選定委員会</p> <p>【委員】 宮口委員長、益田委員、細田委員、坂元委員、川原委員、木方委員、楠委員、長友委員、川床委員、戸村委員、鬼束委員（12名中11名出席）</p> <p>【事務局】 （未来創生課）浜辺課長、渡辺課長補佐、山倉副主幹 （観光・クルーズ振興課）古澤課長（生涯学習課）重永課長、佐藤副主幹 （財産マネジメント課）山口補佐</p>		
会議の次第	<p>1 開会 2 事前説明 （1）2次審査について 3 審査 （1）2次審査 （2）採点・集計 （3）協議・選定 4 その他 5 閉会</p>		
【 内 容 】			
<p>≪2階201号室≫</p> <p>1 開会（10時00分）</p> <p>2 事前説明 （1）2次審査について ・事務局より、審査の流れについて説明。</p>			
<p>≪3階301号室へ移動≫</p> <p>3 審査 （1）2次審査 ①プレゼンテーション（20分間） ・申請者A社からのプレゼンテーション。 ・スクリーンに資料を映して説明。 ・ガイダンスセンターの模型を提示。</p>			
<次ページへ続く（1／4）>			

②審査委員からのヒアリング

【主な質疑】

(委員) 地元産の材料を使用するに当たって、地元事業者と精通している必要があると思うが、どのような対応を考えているか。

⇒ (申請者A) 地元事業者との繋がりが重要になってくると思うため、いろいろなルートから情報をもらいながら、設計を進めたい。

(委員) 資材価格が高騰しているが、コスト縮減をどのように考えているか。

⇒ (申請者A) この事業だけではなく、様々なプロジェクトで課題となっている。予算内に収まっているか、さらなる縮減が図れないか、そういう意識を持ちながら進めたい。

(委員) ジオラマは過去の油津の風景を復元するような模型になるのか。

⇒ (申請者A) 現在の姿を基本にして作ったほうがいいのではないかと考えている。

(委員) ジオラマに係る事業費が大きなウエイトを占めると思う。コストバランスは大丈夫か。

⇒ (申請者A) 設計を進めながら、各コストを割り付けて設計を進めていきたい。

(委員) 施設来館者が車で来られた際の駐車スペースをどのように考えているか。

⇒ (申請者A) 計画を検討する中で大きく悩んだ部分。車と歩行者の安全性を考慮し、建物の敷地外で、かつ、歩いて行ける範囲で駐車スペースの確保が可能であれば、そういったところも使用できればと考えている。

(委員) 飲食スペースについてはどのように考えているか。

⇒ (申請者A) 詳細は運営方法などにもよるが、カフェのようなスペースをイメージしている。

(委員) これまで地域で作成された橋の模型などを置いてもらうことは可能か。

⇒ (申請者A) そういった模型はぜひ活用したい。こういったものがあるのか、大きさや内容によって展示スペースを調整したいと考えている。

(委員) ほとんどの機能が1階に集約されているが、2階で歴史文化を広く学んでいただくなど、活用方法のイメージはあるか。

⇒ (申請者A) 2階はどちらかというと、交流や例えば修学旅行生へのレクチャーを行うなど、フリーなスペースとしての活用を想定しているが、展示スペースを設けるなど、要望があれば検討させていただきたい。

(委員) 発表の中で、地元の企業と連携したいと言われていたが、企業名を教えてください。

⇒ (申請者A) 株式会社グライダーです。

【主な意見】

(委員) 油津の歴史をしっかりと意識して設計を進めていただきたい。

≪2階 201号室へ移動≫

3 審査（再掲）

(2) 採点・集計

- ・各委員による採点終了後、事務局にて集計。

3 審査（再々掲）

(3) 協議・選定

- ・事務局より、集計結果を報告。その後、受託候補者選定の協議を行った。

1位 株式会社オンデザインパートナーズ

2次審査点数 62.5点。1次審査加点後 158.2点。

【協議の中で出された主な意見】

- ・提案された内容、特にジオラマ等展示に係る部分が、予算内に収まるか疑問が残った。施設に何が必要かをしっかりと議論し、優先順位をつけて発注すべきではないか。
- ・寄附者の意向である、油津地区の歴史を守り、伝え、伝承するという、資料館の部分を優先にしてもらいたい。
- ・ジオラマについては、飢肥杉搬出の最盛期の頃など、寄附者の意向を踏まえ、歴史を伝えるものとして過去の油津地区を再現すべきではないか。
- ・別に選定するコーディネーターは、地域の意見などの調整といった機能も求めていることから、ここで出た意見を設計に反映する等の調整をお願いすることも可能性としてはある。
- ・受託候補者として選定する場合、選定委員会の要望をしっかりと伝え、業者に契約の意志を確認すべき。

【審査結果】

1位の「株式会社オンデザインパートナーズ」を受託候補者として選定する。

ただし、次の事項を審査委員からの意見・要望として結果通知に加え、対応可能であれば契約手続きを進める。

- (1) あらかじめ示している財源の範囲で事業実施が可能となるように設計を行うこと。

(2) 本事業にあたっては、寄附者の意向である「油津地区の歴史や文化の継承」が核となるものであり、以下に示す事項を含めた上で、しっかりと取り組むこと。

- ① 市内の児童、生徒をはじめとする市民に対しても油津の歴史文化遺産を伝承できるもの
- ② 仕様書で示している今昔写真等の展示
- ③ 昔の道具（飫肥林業、漁業）、チョロ船、弁甲筏等の模型等による再現及び展示
- ④ 油津繁栄にあたって、堀川運河が担ってきた役割（功績）や飫肥杉材で潤ってきた歴史の紹介

(3) ジオラマの作成・設置にあたっては、まちづくり計画を基本とし、油津地区が有してきた歴史や文化を感じることができるよう、その内容について発注者と十分に協議、調整を行うこと。

4 その他

特になし。

5 閉会（11時45分）